

---

# 復讐

ちほ

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

復讐

### 【Nコード】

N5177C

### 【作者名】

ちほ

### 【あらすじ】

彼女に振られた誠之。彼が計画した復讐とは…？

## （前書き）

すべてフィクションです。男性・女性共々、彼女・彼氏に振られても復讐なんてしないでください。きっぱり諦めて、次の恋へ走りだしましょう！

とある家で計画が行なわれていた。洒落にならない程残酷な計画的な…復讐…。

池上家では長男『誠之』とその彼女『是永淳子』がいた。

「誠之、ウチら別れよ。」 「…なんで？」

「他に彼氏出来ちゃった。ほら、誠之の幼なじみの『真一』くん。」  
「…なんでシン？意味分かんねえ！！」

「言つとくけどコクってきたのはあつちだよ！まああたしも誠之よりいいかなあとか思っちゃってサ、OKしちゃったわけ。」

「…好きにすれば？」

「サンキュー。バイバイ」何がバイバイだよ！ざけんぢやねえ！しかもよりによつてシンで…。あいつそんなことなんも言つてなかったのに…！チキショー…。

復讐してやる…俺の本気を見せてやる…！

「もしもし？俺、誠之だけどさ、どう最近。新彼とも仲良くやつてる？」

「んー？別にフツーだよ。でもまあ、誠之といた時よりは充実してるよお。」

「…そつか。ぢゃあいいや。ばいばい。」

ブチッ…。

「何なのよ！？」

…今宵、淳子に対しての復讐が行なわれる。大丈夫、計画ど通りにやれば俺への被害はない…はず…？

「もしもし淳子？度々ごめん。話があるんだ。今夜どこかで会いたいんだけど」

「ええいいわよ。8時に駅前のカフェで会いましょう。」

「分かった。じゃあ。」

ここまでは計画どおり。今日の夜はシンはバイトだし、淳子は空いているんだ！

「あら、早いね。まだ10分前よ。」

「ああ、久しぶりに淳子に会えると思ったたらうれしくてね。早くついてしまった。」

「でっ何？話って。」

「まあたいした用じゃないんだがな。それよりこれ、コーヒーでも飲みながら聞いてくれ。」

「ありがとう。で、何？」

「うん、俺引越すことにしたんだ。多分もう会えることはないと思う。」

「そう。淋しくなるわね」

「外、歩かないか？」

カフェから出て二人は歩き出した。実はさっき淳子に飲ませたコーヒーのなかに痺れ薬が入っていたのだ。そろそろ効いてくるはず…

「あれっ？」

バタッ…

「大丈夫か？淳子。その影へ…」

ドサ…。と、ほぼ同時に、グサッ…。果物ナイフが淳子の胸に刺さった。

大きなドラムの中に淳子の死体を入れて、コンクリートで固める。

後は海に…捨てる…。いや、捨てた…。

誠之の目は、黒く輝いていた。口からは笑みが漏れだしていた…。この世の全てを手に入れた感じがした。気分が良かった…！俺は悪くない。悪いのは全てあのオンナとシンのせいだ！俺はもう、自由だ——！！

（後書き）

彼氏が出来ない負け惜しみです（泣）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5177c/>

---

復讐

2010年11月20日14時12分発行